

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成21年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(議員提出)	1件	和歌山県議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
条例案件(知事提出)	12件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	可決
その他案件(//)	7件	訴訟の提起について等	可決
人事案件(//)	4件	和歌山県人事委員会の委員の選任につき同意を求めるについて等	同意
請願	2件	飲食店営業等に調理師の配置を義務付ける制度及び再講習制度の制定に関する意見書の提出を求める請願書	採択
		教育改革についての請願	継続審査
意見書	3件	飲食店営業等に調理師の配置を義務付ける制度及び講習制度の制定に関する意見書	可決
		肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書	可決
		国直轄事業負担金の廃止を求める意見書	可決

会期中の主な動き

- 観光振興に係る条例案検討会の開催 (6/12)
- 特別委員会の開催
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (6/22)
 - 議員定数等検討特別委員会 (6/23)
 - 人権・少子高齢化問題等特別委員会 (6/24)
- 議長及び副議長の選出 (6/30)
- 常任委員会、特別委員会(議員定数を除く)、議会運営委員会の委員及び正副委員長の選任 (6/30)

6月定例会 会期日程 (会期19日間)

12日(金)	本会議
15日(月)	議案調査
16日(火)	
17日(水)	
18日(木)	本会議 (一般質問)
19日(金)	
22日(月)	
23日(火)	常任委員会
24日(水)	
25日(木)	本会議
26日(金)	
29日(月)	
30日(火)	

LED照明灯

- 電流が流れると光る性質の半導体を使用した照明灯。現時点では価格は高いものの、白熱灯や蛍光灯より長寿命で、電力消費も少ない。

問 LED照明灯について、経済的には多少持ち出しは必要とされている。LED照明灯については、できるだけいろいろなところで採用するよう努めたい。

答

ご指摘のとおり、経済的には多少持ち出しは必要とされている。LED照明灯については、できるだけいろいろなところで採用するよう努めたい。

LED照明灯の 県有施設への導入

問

県庁本庁内の蛍光灯は約8000本あり、出先機関や病院、学校等も含めると数万本になると思われる。CO₂排出量と比較すると一般の蛍光灯の約半分地球環境に優しいLED照明灯を県有施設に導入してはどうか。

答

ご指摘のとおり、経済的には多少持ち出しは必要とされている。LED照明灯については、できるだけいろいろなところで採用するよう努めたい。

山東省との友好提携25周年

問

県は、昭和59年に中国山東省と友好提携を締結し、今年で25年を迎えるが、このことに対する知事の感想と、今後の展開の考えはどうか。

答

中国の中でも山東省は大変発展しており、これまで実りある交流を行ってきた。本年8月下旬に省長がお越しになるので記念イベントを開催し、友好ムードを盛り上げていきたい。また、秋には訪問団を山東省に派遣する計画である。今後も、これまで築き上げてきた信頼を基礎として、より一層互恵関係を深めていきたい。



ねっと安全わかやま事業

問

6月1日の知事記者会見でネットパトロールを始めるとの発表があり、今議会の補正予算に「ねっと安全わかやま」事業として予算計上されている。この事業決定に至る経緯とその詳細はどうか。

答

ネットでのいじめ等が急増する中、文部科学省でネットパトロールに関する委託事業が採択される見通しとなり、早期に被害を防止する観点からネットパトロールと監視の部分を6月9日に立ち上げた。既に69件の無防備な書き込みを発見し、関係機関と連携して対応している。今後、各種の相談機関と連携したウェブ相談窓口を設けるとともに、情報モラル講座の開催を通じて児童生徒や保護者、教職員の意識向上を図りたい。

ねっと安全わかやま

- 県、警察及び県教育委員会が連携し、青少年のインターネットの利用実態を把握するとともに、ネット上の掲示板等を使用した犯罪やいじめ等を未然に防ごうとするもの。



全国学力・学習状況の 調査結果

問

公教育の充実から学力を向上させていくためには、自分たちの地域と全国を比較して冷静に分析しておくことが重要である。テスト結果の地域・学校単位の公表は積極的に行うべきと考えるが、知事の認識はどうか。

答

県教育委員会では非常に的確な状況把握をしており、学力向上に委員会を挙げて取り組んでくれている。知事が声高に、「単にテストの点を上げろ」と言うことではなく、どのような影響を与えるか、慎重でなければならない。本県では信頼できる教育委員会のもとに先生方が頑張ってくれると思うので、声援を送りながら必要な対策を怠りなく打っていききたい。

紀伊半島一周高速道路の 早期実現

問

現在まで、地域の促進団体、県、県議会が連携して整備促進活動が続けてきた。昨年は紀伊半島一周高速道路・熊野川河口大橋の建設を求める総決起大会が開催されるなど、地域の思いは非常に熱いものがある。早期実現に向けた決意はどうか。



答

紀伊半島一周高速道路は県民の悲願であり、知事就任以来、早期実現を訴えてきており、県議会でも長年尽力いただいていた。先般、御坊・田辺間の4車線化が認められるなど、これまでの取り組みが実りつつあると実感しているが、一方では、道路特定財源が一般財源化されるなど油断できない状況もある。今後とも県議会や県選出国会議員などの支援をいただきながら、一日も早い実現に努めていきたい。

国道42号有田海南道路と 関連道路

問

有田海南道路は、有田市に新大橋をかけて海田市冷水まで5本のトンネルで結び計画であるが、河川整備の観点からも、まず有田川新大橋の早期事業着手・供用をめざしてはどうか。また、接続道路となる県道有田湯浅線千田〜高田間の渋滞解消への取組はどうか。

答

有田海南道路は昨年度新規事業化され、現在は国により調査測量が行われている。有田川にかかる橋からの先行着手は、全体の早期整備はもとより、部分供用による整備効果の早期発現の観点からの検討を国に働きかけていく。千田〜高田間については、早期に整備できるよう、有田市とも相談しながら地元調整を進めていきたい。

自転車歩行者道の設置

問

長年要望してきた上富田町岩崎地内における国道42号への自転車歩行者道の設置に当たっては、河川を有効活用し、早急に実現するよう国に働きかけてはどうか。

答

この区間は、交通量が多いものの歩道が繋がっていないので、付近住民、通学生等の歩行及び自転車通行に対する安全を確保するよう、国土交通省に自転車歩行者道設置について働きかけた。また、河川の有効利用については、治水上の機能の保全・確保を前提に、道路管理者と前向きに協議していききたい。